



株式会社シャルレ 〒654-0192 神戸市須磨区弥栄台三丁目1番2号  
TEL 078-792-7000(代) <http://www.charle.co.jp/>

株主のみなさまへ

## 第38期 報告書

平成24年4月1日～平成25年3月31日

株式会社シャルレ  
証券コード 9885



## 株主のみなさまへ

株主のみなさまにおかれましては、いつもご支援をいただき、心よりお礼申し上げます。

ここに当社の第38期報告書をお届けいたします。

当社を取り巻く環境は依然厳しい状況ではございますが、

創業以来築いてまいりました「人」を軸にした当社独自のネットワークを最大限に活用しながら、業績の回復と拡大に向け、グループ一丸となって挑戦してまいります。

また、本年7月より、株式会社大阪証券取引所と

株式会社東京証券取引所の経営統合に伴い、

弊社の上場市場が東京証券取引所市場第二部へ統合されることとなりました。

今後も、より一層のガバナンス強化と

コンプライアンス意識の徹底に継続して取り組んでまいります。

株主のみなさまには、一層のご理解とご支援を賜りますよう

お願い申し上げます。

平成25年6月

株式会社シャルレ 代表取締役社長 奥平 和良



## 基本理念

人はみな豊かでなければならない  
我々に関係ある人はみな  
どうしても豊かでなければならない

## ビジョン

毎日の暮らしに「心おどる感動」と  
「心やすらぐ安心」を。

## Contents

P1	… 株主のみなさまへ・基本理念・ビジョン
P2-5	…………… トップインタビュー
P6	…………… エタリテ10周年
P7-8	…………… ロングセラー商品
P9-10	…………… 主なブランドインナップ
P11-12	…………… 連結財務諸表の概要
P13	…………… 会社の概要・株式の状況
P14	株主メモ・株式に関するお手続きについて

## トップインタビュー

# TOP INTERVIEW

### 当期の事業環境および 業績についてご説明ください。

当期の国内における経済環境は期の後半に、政策的効果によって株価や為替に影響を与え、海外ブランド品が活況を呈するなど、一部で個人消費が回復の兆しを見せているものの、レディースインナー市場への影響は限定的な状況で推移いたしました。

当社におきましても、今期の売上高は212億71百万円、前年比92.9%と前年をクリアすることはできず、厳しい1年となりました。レディースインナー業界では、ここ数年ファストファッションやプライベートブランドに代表されるように、インナー市場の競争が激化しており、価格面や品質面など消費者の視点がますます厳しくなったと実感しています。加えて、女性の就業率の高まりやインターネット通販の普及等の影響も受け、商品面のみならずビジネス参画者も減少している状況です。

### 具体的な商品の発売・販売状況は いかがだったでしょうか？

まず、新商品ですが、近年健康志向の高まりで

当社でも健康をテーマに商品開発を行っています。今期はウォーキングのような軽運動でご使用いただけるウエアやシューズなどの商品を「サポートウォーク」シリーズとして発売しまして好調な売上となりました。他にも、膝にかかる負担を軽減しながら歩行をサポートする「ひざサポートウォーカー®」シリーズや、着脱する際の「サポート®(ガードル・腰サポート)」動作で肩のまわりの筋肉を動かし、ストレッチ効果が期待できる「肩ストレッチインナー」(特許取得)などを発売いたしました。

また、アウターシリーズの「シャルレ ドレッセ」からは、高級感のある素材を使用した着心地の良いカットソーやパンツを発売し、好調に売上が推移しました。

一方で、当社の定番商品であるファンデーション類、肌着・インナー類の落ち込みがここ数年続いて



着る・脱ぐ・日常動作で、ほぐす。  
『肩ストレッチインナー』



はいてサポート。歩いて筋トレ。  
『サポート®(ガードル・腰サポート)』

います。

長年当社が培ってきた下着の「補整機能」には絶対の自信を持っていますが、市場ではファッション性に加え機能性を謳った商品も多くなっています。当社の独自性が徐々に薄らいでしまっていると認識しています。

しかしながら、当社にはビジネスメンバーと呼ばれる代理店や特約店がいらっしゃいます。試着会を通じ消費者に的確にフィッティングができる、アドバイスができる。それぞれ心のこもったサービスを提供しており、そこにコミュニケーションが発生し、シンパシーを感じるコミュニティが生まれます。この当社にしかない最大の強みを生かし、時代に即した商品との融合を図ることでこの難局を乗り越えられると確信しています。

そのためにも、商品の研究、開発は急務と認識しています。

**エタリテが誕生してから10周年を迎えました。流行の移り変わりが顕著な化粧品という商材が愛され続けている理由は何だと思われていますか。**

当社の商品はロングセラー商品が多いんですよ。「Cシリーズ」のブラジャーは実に30年以上売り続け

ていますし、「ドゥヴァンナ」と言うファンデーションシリーズも今年で15年を迎えます。消費者の皆さんにその良さが受け入れられたことは当社に



華やか補整ブラジャー 「ドゥヴァンナ」

とって大きな誇りです。そして何より、長きに亘り販売していただいたビジネスメンバーの方々に育てていただいた商品だと思っています。

そんな中で、化粧品を発売して10年を迎えました。それまで、下着しか扱ったことのない会社でしたから大きなチャレンジでしたね。「品質のシャルレ」と認知される会社だったからこそ開発担当者も失敗は許されないというプレッシャーがあったと思います。

消費者視点では「商品の品質が良い」と言うのがこれだけ愛され続けてきた要因だと思っています。ただ、そこには開発の原点であった「女性の美しさを引き出す商品」と言う化粧品に込めた当社の思いが受け入れられたのだと自負しています。流行に左右されない本物志向であったからこそ、本当に「良



まいにちが、上質肌。『エタリテ』

いもの」は時代が変遷しても「良いもの」として受け継がれるんだと思います。また、当初は取り扱うビジネスメンバーからも下着以外の商品

に違和感を覚えられた方も中にはいらっしゃいましたが、お客様に喜んでいただくことでビジネスメンバーの方々にも徐々に浸透し、今ではすっかりエタリテファンと言う方がたくさんいらっしゃいます。

**これからの企業として発展を目指す中で、中長期的な視点ではどのような方向性を示されているのでしょうか**

長年業績が低迷しており、まず本業である国内シャルレ事業の立て直しが最優先と考えています。そのためにも、若い世代の子育て真っ最中といったお母様方にどんどんシャルレビジネスに参画してもらいたいですね。一般的に、子育てをしながらでもできる仕事ってそんなないですからね。

当社は創業40年を目前に控えています。組織も時の経過とともに年齢を重ねました。シャルレを託す次の世代を育てる意味でも、組織の若返りは必要なことです。そのためにも私たちがシャルレの楽しさや温かさを伝え、いきいきと輝き続けることで、人から目標とされるような存在であるべきだと思っています。もちろん、時代に合ったビジネス環境を整えることも重要ですね。魅力ある商品の開発や利便性を考えたビジネスインフラの整備、企業認知度ももっと向上させないといけない。シャルレビジネスの魅力をもっと向上させなければならないと思っています。

また、「美と健康」をテーマとした会社の責務を果たしたいと考えています。創業時はショーツ、靴下ぐらいしかラインナップはありませんでした。今やブランドーやガードル、アウターも扱うようになり、そして化粧品、最近ではウェルネス商品も扱っています。全てが「美と健康」を実現するために思いを込めた商品づくりに徹してきた結果です。これをさらに進化させる必要があると考えています。「売れるから作る」のではなく、シャルレとして商品を通じて世の中にどんな貢献ができるのか。そのような観点に立ち次のステップに進むべき時が来ているのではないか

## トップインタビュー TOP INTERVIEW

と考えています。

そうした事業の基盤をしっかり整備し、世の中の女性たちを元気にいきいきとさせるグループでありたいと思っています。私たちの輪に入れば楽しいコミュニティがありますよ。気の合う仲間達と一緒にいきいきとした毎日を過ごせますよ。って声を大にして言うことのできるグループを目指したいですね。

一方、子会社関連に関してですが、当期にLED事業から撤退いたしました。省エネや節電需要が追い風となって市場は拡大しているものの、事業採算性としては非常に厳しい状況でした。そんな中で、今まで築いてきた事業基盤をより発展的に成長させるにはどのような選択ができるか検討した結果、もともとそのような基盤を持っている企業と融合するのが最善のことと判断し、株式を譲渡しました。

そして、中国での下着事業を営む「香羅奈」に関しては、現地での知名度もある程度は浸透しているものの、事業としての採算は厳しい状況です。現在は徹底的にコスト削減を図る一方で、採算性の高い店舗に絞って重点的に営業を行っています。今後、市場の重要性や将来性を見ながら迅速に対応していくつもりです。

### 最後に今後のシャルレについて

お聞かせください。

当社を取り巻く環状は依然厳しい状況ですが、この現状を開拓することに最優先で取り組まなければならぬと思っています。きちんと足元を見ながら着実にそして確実に改革を進めなければなりません。

シャルレ再生を実現するために、社員を含めた私たち自身が変わっていくこと。そして、守るべきものと変えるべきもの、新たに付け加えるべきものを見極め、変化や失敗を恐れず最後までやり抜くことが改革の第一歩だと考えています。

「女性を元気にする日本一のグループ」を目指して全社一丸となって取り組んでまいります。

株主・投資家のみなさまのご期待に添える会社へと発展させていく所存ですので、今後とも変わらぬご支援と、ご理解を賜りますよう  
よろしくお願いします。



eterrite  
エタリテ



10th  
Anniversary

## 化粧品ブランド「エタリテ」が発売10周年を迎えました。

エタリテは、いつまでもいきいきと若々しく美しくあり続けたいと願う、すべての女性のために誕生しました。商品を開発するにあたり、下着で築いてきた信頼を化粧品で裏切ることがないよう、これまで以上に「品質に妥協することなく、良いものだけをお届けする」ということにこだわりました。原料は、その成分がもつ効果を徹底的に調査し、実際に使用テストを行った上で、最適なバランスで配合しています。発売前には何度もモニターテストを行い、ひとりひとりのモニターの声をていねいにヒアリングしながら試行錯誤を繰り返しました。だからこそ、エタリテはこの10年間でたくさんの女性に愛され、「なくてはならない」といっていただける商品になりました。

2012年11月には、誕生10周年を機に新たに「エタ

リテ ラインⅡ」を発売。年齢を重ねることにより感じる肌の変化のメカニズムを見つめ直し、さらに保湿感を高めました。2つの特長成分を加え、とろみのある使用感で、ツヤに満ちた弾むようなハリのある肌へと導きます。また、2013年4月にはこれまで愛用して下さったお客様への感謝をこめて、クリスタルをあしらった華やかで上品なデザインの「スムースファンデーション 限定ケースセット」を発売しました。

エタリテは、これからも時代やお客さまに求められる化粧品へと進化し続けます。



スムースファンデーション 限定ケースセット

※この商品は、SWAROVSKI ELEMENTSを使用しています。

# シャルレを代表するロングセラー商品をご紹介します。

## ショーツ (IB024・1977年発売)

立ったり、座ったり、歩いたり、どんなに動いてもヒップとおなかをしっかりと包みこんで、守ってくれるショーツです。

前寄りの足口や広めのマチ幅など、体の構造にあわせた立体設計で、快適なはき心地を実現。

一度使ったら手放せないという固定ファンも多い、シャルレで一番人気のショーツです。

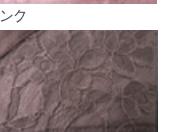


## ブラジャー (FA023・1981年発売)

ノンワイヤーでしっかりとバストアップできる、シャルレを代表するブラジャーです。「超ロングセラーで日本一売れているブラジャー」としてギネスブック(94・95年)にも掲載されました。高くバストアップできる補整力の高さと、背筋が伸びるようなシャキッとした着心地の良さで、発売から30年以上たった今も愛され続けています。



C series  
Cシリーズ



補整力が自慢のCシリーズでは、整えたい部分に合わせてファンデーションを選んだり組み合わせたりすることで、理想のボディーラインに近づくことができます。



【セミロングガードル】

【ボディースーツ】

【ショートガードル】

【セミロングガードル】

光沢のある生地と立体感のあるレースが美しい、ノンワイヤーブラジャーです。

体の動きにフィットする伸びの良い生地で、女性らしいバストラインをしっかりとキープしてくれます。ドゥヴァンナシリーズでは、キュッと上がったヒップラインになれるセミロングガードル(メーカー特許取得済)や、バストからヒップまでなめらかなボディーラインに整えてくれるボディースーツなど、ファンデーションの種類が充実しています。

より華やかで優雅なデザイン・カラーになって2013年～2014年にリニューアル発売予定です。

ブラジャー (FA181・1998年発売)

Devanna  
ドゥヴァンナ



## シャルレのものづくりに欠かせない「シャルレ基準」

### 1 パターン(型紙)



既存の標準サイズでパターンを作る下着メーカーが多い中、シャルレは商品それぞれの使用する素材や求める機能性に応じて、ひとつひとつパターンを設計しています。たとえば、ロングセラーのブラジャー(FA181)はボリュームアップなどの機能性を持たせるために、49ものパーツからなる立体パターンを用いています。

### 2 素材

年齢とともに敏感になりやすい女性の肌のために、刺激が少なく優しい肌触りの素材を選んでいます。たとえば、下着の肌側に多く使われている綿は、繊維が長く細い最高級の「超長綿」。ぜいたくな糸をたっぷり使い、ゆったりと編んで生地にすることで、やわらかくなめらかな風合いに仕上げています。

### 3 縫製

縫製の工程ごとに最適な設定を施したミシンを使用したり、仮縫いや返し縫いを多くの工程に取り入れたりするなど、シャルレ独自のこだわりで、常に安定した高品質な製品づくりをしています。洗濯時や長期間のご使用にも糸がほつれにくく、多くのお客様に喜ばれています。





主なブランドラインナップ

*Brand  
Lineup*

# 『美と健康』を目指すシャルレの 多彩な商品ラインナップ

シャルレは、『美と健康』に関する幅広い商品とサービスの提供を目指し、健康関連分野や、永らくのご愛用者が多いファンデーション、インナーウエア等、シャルレならではのこだわり

化粧品関連分野の商品のラインナップを拡充してまいります。  
の商品も、これまで通り充実したラインナップで提供し続けてまいります。

*CHARLE*

シャルレを代表する、ブランド。着用感と機能性を兼ね備えた、本物志向を追求しています。多くの女性に、長きに亘って愛されているシリーズが多数存在し、これからも愛され続けることを目指しています。

**C series** Cシリーズ **ANCY et Rêve** アンシエレーヴ **Charle Luxuar** シャルレラグジャ **Devanna** ドゥヴァンナ



**Fache** ファーチェ



**肌日和** はたぎより

**PALETTY** パレッティ **Charle Hana・シャルレ**



*eterrite*

エイジングケアを目指したスキンケアブランド。  
美しく時を重ねる大人の女性たちに、上質肌の悦びと満足感を。



**エタリテ オーラマージュ**  
**eterrite AURAMAGE**

上質肌のその先へ。  
エタリテブランドの最高級スキンケアシリーズ。美意識の高い女性たちのお肌へ、高保湿・高浸透技術により愛情をそそぎます。



**エタリテ**  
**eterrite**

まいにちが、上質肌。  
美しく年齢を重ねたお肌を、より深く、より豊かに満たす、クオリティスキンケアシリーズ。



**エタリテ フレディアス**  
**eterrite fredias**

上質肌のはじまり。  
古い角質によるくすみに着目した初期エイジングケアシリーズ。30代、40代の角質層に、「与える」だけではなく「除く」お手入れでアプローチします。

*シャルエーゼ*



**CHARAISE**  
シャルエーゼ

美しさを育む、毎日の心地よい習慣のためのヘアケア・ボディケアブランド。ヘアケアシリーズは、天然植物成分にこだわった髪のダメージの補修と予防の両方に着目、ボディケアシリーズは、お肌のために成分を厳選しました。



**CHARLE REMUS**  
シャルレ リーマス

幅広い年代層に対応した男性ブランド。良質な素材を使用し、快適性を追求しています。快適で清潔、柔らかな肌触りのカジュアルラインと、リッチで清潔、快適な着心地のプレミアライン。



**シー・フォー・ユー**

**C4U**  
Charle's Comfort Club for Children

キッズからティーンズの男児・女児向けブランド。「シャルレの品質を子供にも」というお声から誕生し、肌触りを大切にしつつ、男児は活発な動きへの対応、女児はおしゃれ心も大切にしています。

*Charle Wellness*

シャルレウェルネス

「健康」をテーマにしたブランド。

3つのこだわり①専門的理論、②高い機能性、③オリジナル性を持ち、特許技術によって設計した商品を中心として、肩・腰・膝をサポートします。

**サポトレ<sup>®</sup>**



特許技術を採用し、着用することでボディラインを整えることはもちろん、腰もサポートし、歩くことでお腹や太ももの筋トレ効果を実現したガードル。

※女性の1日の平均歩数は6,352歩です。(平成21年国民健康・栄養調査)

特許取得済  
(特許第4024287号)

**ひざサポウォーカー<sup>®</sup>**



見えない力で歩きをサポート。特許取得済みの独自設計で膝と脚をサポートし、膝への負担を軽減します。

特許取得済  
(特許第4607233号)

**サポトレメンズ<sup>®</sup> [男性用]**



着用することでお腹を「サポート」し、歩くことでお腹や太ももの筋肉を「トレーニング」します。

※男性の1日の平均歩数は7,214歩です。(平成21年国民健康・栄養調査)

特許取得済  
(特許第4024287号、  
特許第4695714号、  
特許第4921577号)

# 連結財務諸表の概要

(注)各財務諸表は主要な項目を表示しております。

連結貸借対照表

科目	当期 平成25年3月31日	前期 平成24年3月31日	科目	当期 平成25年3月31日	前期 平成24年3月31日																																																																		
<b>資産の部</b>																																																																							
<b>流動資産</b>	<b>16,166</b>	<b>16,522</b>	<b>負債の部</b>	<b>2,929</b>	<b>3,247</b>																																																																		
現金及び預金	7,908	8,661	支払手形及び買掛金	1,062	829																																																																		
受取手形及び売掛金	133	190	未払金	1,424	1,836																																																																		
有価証券	2,409	2,408	未払法人税等	30	20																																																																		
商品	4,750	4,358	賞与引当金	185	381																																																																		
貯蔵品	34	68	その他	226	180																																																																		
繰延税金資産	486	549	<b>固定負債</b>	<b>1,127</b>	<b>1,086</b>																																																																		
その他	457	294	売上割戻引当金	214	213																																																																		
貸倒引当金	△13	△8	退職給付引当金	470	496																																																																		
<b>固定資産</b>	<b>7,702</b>	<b>7,476</b>	長期未払金	208	376																																																																		
<b>有形固定資産</b>	<b>2,760</b>	<b>2,780</b>	その他	234	—																																																																		
建物及び構築物(純額)	1,324	1,575	<b>負債合計</b>	<b>4,057</b>	<b>4,333</b>																																																																		
土地	907	907	<b>純資産の部</b>																																																																				
その他(純額)	528	296	<b>株主資本</b>	<b>19,992</b>	<b>20,148</b>				資本金	3,600	3,600				資本剰余金	4,897	4,897				利益剰余金	12,789	12,945				自己株式	△1,295	△1,295				<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>△180</b>	<b>△483</b>				その他有価証券評価差額金	△133	△415				為替換算調整勘定	△47	△67				<b>純資産合計</b>	<b>19,811</b>	<b>19,665</b>				<b>負債純資産合計</b>	<b>23,868</b>	<b>23,999</b>	(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。							<b>資産合計</b>	<b>23,868</b>			
			資本金	3,600	3,600																																																																		
			資本剰余金	4,897	4,897																																																																		
			利益剰余金	12,789	12,945																																																																		
			自己株式	△1,295	△1,295																																																																		
			<b>その他の包括利益累計額合計</b>	<b>△180</b>	<b>△483</b>																																																																		
			その他有価証券評価差額金	△133	△415																																																																		
			為替換算調整勘定	△47	△67																																																																		
			<b>純資産合計</b>	<b>19,811</b>	<b>19,665</b>																																																																		
			<b>負債純資産合計</b>	<b>23,868</b>	<b>23,999</b>																																																																		
(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。																																																																							
	<b>資産合計</b>	<b>23,868</b>																																																																					

単位:百万円

連結損益計算書

科目	当期 平成24年4月1日～ 平成25年3月31日	前期 平成23年4月1日～ 平成24年3月31日
<b>売上高</b>	<b>21,271</b>	<b>22,908</b>
売上原価	11,476	11,713
販売費及び一般管理費	9,060	9,885
<b>営業利益</b>	<b>733</b>	<b>1,309</b>
営業外収益合計	56	52
営業外費用合計	13	14
<b>経常利益</b>	<b>777</b>	<b>1,347</b>
特別利益	1	79
特別損失	325	346
<b>税金等調整前純利益</b>	<b>453</b>	<b>1,080</b>
法人税・住民税及び事業税	12	13
法人税等調整額	23	2
<b>少数株主損益調整前純利益</b>	<b>418</b>	<b>1,064</b>
<b>当期純利益</b>	<b>418</b>	<b>1,064</b>

単位:百万円

連結キャッシュ・フロー計算書

	当期 平成24年4月1日～ 平成25年3月31日	前期 平成23年4月1日～ 平成24年3月31日
a. 営業活動によるキャッシュ・フロー	273	709
b. 投資活動によるキャッシュ・フロー	△168	△513
c. 財務活動によるキャッシュ・フロー	△576	△678
現金及び現金同等物に係る換算差額	19	△4
現金及び現金同等物の増減額(減少:△)	△452	△485
現金及び現金同等物の期首残高	3,569	4,055
現金及び現金同等物の期末残高	3,117	3,569
当連結会計年度末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ4億52百万円減少し、31億17百万円となりました。		
営業活動により得られたキャッシュ・フローは、2億73百万円(前年同期比61.5%減)となりました。主な要因は、税金等調整前当期純利益4億53百万円・減価償却費及びその他の償却費4億19百万円、未払金の減少額5億39百万円、たな卸資産の増加額4億80百万円であります。		
投資活動に使用されたキャッシュ・フローは、1億68百万円(67.2%減)となりました。主な要因は、定期預金の減少額3億円、無形固定資産の取得による支出3億27百万円であります。		
財務活動に使用されたキャッシュ・フローは、5億76百万円(同15.0%減)となりました。主な要因は、配当金の支払額5億75百万円であります。		
(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。		

単位:百万円

連結包括利益計算書

科目	当期 平成24年4月1日～ 平成25年3月31日	前期 平成23年4月1日～ 平成24年3月31日
<b>少数株主損益調整前純利益</b>	<b>418</b>	<b>1,064</b>
<b>その他の包括利益</b>		
その他有価証券評価差額金	282	105
為替換算調整勘定	19	△4
持分法適用会社に対する持分相当額	0	0
<b>その他の包括利益合計</b>	<b>302</b>	<b>101</b>
<b>包括利益</b>	<b>721</b>	<b>1,166</b>
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	721	1,166
少数株主に係る包括利益	—	—

(注)記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

## 会社の概要・株式の状況

### 会社の概要

#### ■ 概要(平成25年3月31日現在)

社　　名	株式会社シャルル
本社所在地	神戸市須磨区弥栄台三丁目1番2号
設立	昭和50年11月19日
資本金	36億25万円
事業内容	レディースインナーを主体とする衣料品・化粧品等の販売(卸売) および企業グループの運営管理
社員数	329名

#### ■ 役員(平成25年6月27日現在)

代表取締役社長	奥 平 和 良
取締役	平 山 修
取締役	北 村 滋 郎
取締役	谷 口 博 樹
取締役	脇 田 純 一
監査役(常勤)	奥 田 清 三
監査役	岸 本 達 司
監査役	井 出 久 美

#### ■ シャルレグループ企業の概要(平成25年3月31日現在)

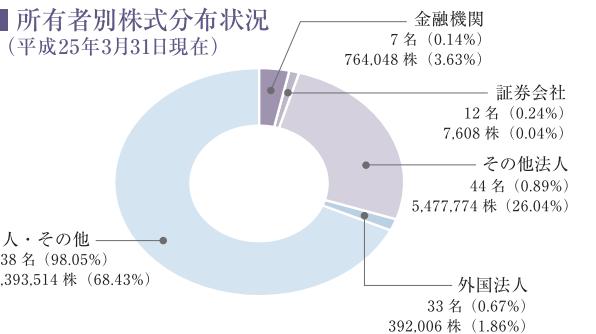
香羅奈(上海)国際貿易有限公司	
所 在 地	中華人民共和国上海市
資 本 金	990万米ドル
事 業 内 容	中国における下着・服装類・ギフト商品 および関連する商品の輸入、販売

### 株式の状況

#### ■ 株式の状況(平成25年3月31日現在)

発行可能株式総数	84,000,000 株
発行済株式の総数	21,034,950 株
株主数	4,934 名

#### ■ 所有者別株式分布状況 (平成25年3月31日現在)



#### ■ 大株主(平成25年3月31日現在)

株主名	当社への出資状況	
	持株数(株)	出資比率(%)
(有) G & L	3,802,432	19.84
(有) L a m ' s	1,581,050	8.25
林 雅 晴	1,508,925	7.87
林 宏 子	1,037,699	5.41
林 勝 哉	957,100	4.99
瀬 崎 五 葉	954,700	4.98
林 達 哉	954,700	4.98
林 ト ミ 工	473,650	2.47
林 達 三	471,780	2.46
日本生命保険相互会社	257,400	1.34

(注) 1. 出資比率は、自己株式(1,869,039株)を控除して計算しております。  
2. 当社の自己株式持株数は、議決権を有しておりませんので、上記の表から除外しております。

## 株主メモ・株式に関するお手続きについて

### 株主メモ

決算期	毎年3月31日
定時株主総会	毎年6月に開催
基準日	定時株主総会については3月31日 利益配当金については3月31日 中間配当を行う場合は9月30日 その他必要があるときは、 あらかじめ公告して定めます。
株主名簿管理人	三菱UFJ信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
同連絡先	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 お問合せ先 0120-094-777 (通話料無料)
公告の方法	日本経済新聞
上場証券取引所	大阪証券取引所 市場第二部
証券コード	9885

#### [ご注意]

1. 株券電子化に伴い、株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行全国本支店でお支払いいたします。
4. 大阪証券取引所は、平成25年7月16日付をもって東京証券取引所と市場の統合を行う予定のため、同日以降当社の上場証券取引所は東京証券取引所 市場第一部となります。

### 株式に関するお手続きについて

#### 特別口座に口座をお持ちの株主様

お手続き・ご照会等の内容	
○特別口座から一般口座への振替請求	○郵送物等の発送と返戻に関するご照会
○単元未満株式の買取請求	○支払期間経過後の配当金に関するご照会
○住所・氏名等のご変更	○特別口座の残高照会
○配当金の受領方法の指定(※)	○株式事務に関する一般的なお問合せ
お問合せ先	
特別口座管理機関	株主名簿管理人
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 お問合せ先 0120-094-777(通話料無料)	手書き類のご請求方法 音声自動応答電話によるご請求 ☎ 0120-684-479(通話料無料) インターネットによるダウンロード <a href="http://www.tr.mufg.jp/daikou/">http://www.tr.mufg.jp/daikou/</a>

(※) 特別口座に口座をお持ちの株主様は、配当金の受領方法として株式数比例配分方式は、お選びいただけません。

#### 証券会社等に口座をお持ちの株主様

お手続き・ご照会等の内容	
○郵送物等の発送と返戻に関するご照会	○左記以外のお手続き、ご照会等
○支払期間経過後の配当金に関するご照会	
○株式事務に関する一般的なお問合せ	
お問合せ先	
株主名簿管理人	口座を開設されている証券会社等に お問合せください。
三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 お問合せ先 0120-094-777(通話料無料)	